



健康とびしま21
第2次計画
トピックス

子どもの将来の健康が危ない！ 家族の生活習慣を見直そう

平成29年度小児生活習慣病予防検診結果報告

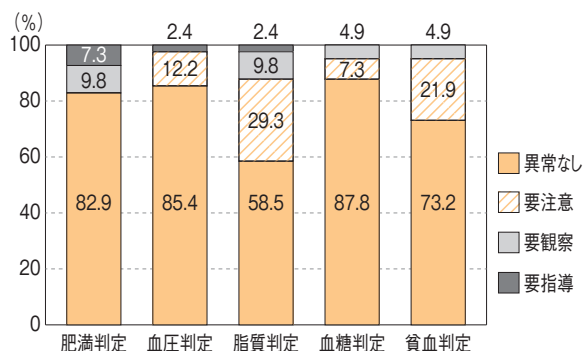
毎年、飛島学園6年生・9年生(希望者のみ)に対して、小児生活習慣病予防検診(身体計測・血液検査・血圧測定)を行っています。検診結果から、子どもたちには、自分の健康を気にかけ、正しい生活習慣を身につけるように、保護者の方には、子どもだけでなく家族の生活習慣についても見直す機会としていただきたいと思います。

●飛島学園6年生の結果

肥満判定：約2割が、要観察・要指導となっています。これから中学生になると、成長期になり身長も伸び、部活で運動するため改善が期待できます。しかし、このまま大人になっていくと生活習慣病の心配が出てきます。

脂質判定：約4割が、要注意・要観察・要指導となっています。とくに、LDL(悪玉)コレステロール、中性脂肪が高い方は注意が必要です。大人の健診でも脂質異常の方は多くみられます。一度、家族の食生活について見直してみましょう。

血糖判定：約1割が、要注意・要観察となっています。ヘモグロビンA1cが高い方は、食事によって変動する血糖値は異常なくても、慢性的に血糖値が高い状態にあります。糖分のとりすぎには気をつけましょう。



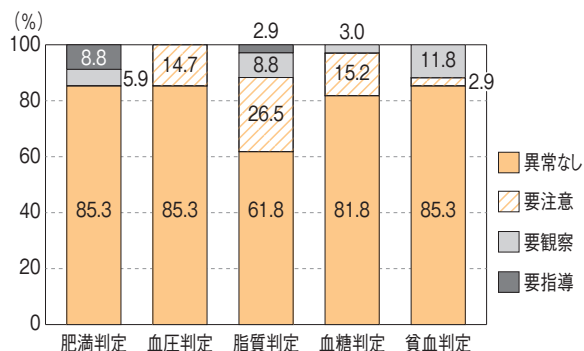
●飛島学園9年生の結果

肥満判定：約1割が、要観察・要指導となっています。

脂質判定：小学生と同じように約4割が、要注意・要観察・要指導となっています。

血糖判定：約2割が、要注意・要観察となっています。

貧血判定：女子は貧血傾向を示すことがあります。無理なダイエットをしたり、好き嫌いをしないように、何でもバランスよく食べるようにしましょう。



現在の生活習慣が子どもの将来の健康に大きな影響を与えることを意識し、改善する努力を家族ひとりひとりが心がけていきましょう。

忘れていませんか？ 健診(検診)結果！

今年度受けた健康診査およびがん検診の結果、**要受診・要精密検査**だった方は、早めに医療機関を受診しましょう。